

第15回執行委員会(9/3) 報告

第33回年次大会 2021年度運動方針補強(案)を提起

立憲・国民の合流協議及び連合の対応についての考え方を示す

連合福島は10月29日(木)に福島市・福島グリーンパレスにおいて第33回年次大会を開催する予定であります。9/3の第15回執行委員会では、年次大会に提案する「2021年度運動方針補強(案)」を示すとともに、年次大会に諮る議案ならびに大会運営に関わる事項を示し確認を行いました。

また、立憲民主党と国民民主党の合流については、この間の合流協議及び連合の対応経過について報告をし、連合福島・今野泰会長より「合流新党を支援し、福島県独自の野党共闘の枠組みを維持していく」との考え方が示されました。

執行委員会前段では、東北労働金庫福島県本部佐藤芳彦副本部長より「上期のろうきん生活支援強化月間」の取り組み報告があり、①返済方法の変更②特別融資の借り入れにおいて不承認が多かった点が報告され、会員における職場推進委員会の協力を得て、各種カードやローンの借り換えの利用について組合員皆さんへの周知取り組みの要請がありました。

さらに福島県立医科大学・前田正治教授より、新型コロナウイルス感染症がメンタルヘルスにどのように影響しているかについて講義が行われ、10月に連合福島と福島医科大学と連携して、組合員を対象としたアンケート(メンタルヘルス)による実態調査を行い、「今後も発生が懸念される大規模災害やパンデミック等の類似の事象に対する基礎データ及び指針作成に利用すること、アンケート結果から早急に対応が必要な組合員をケアする」環境や条件整備確立の取り組みを進めることとなりました。今後、構成組織を通じて組合員の皆さんにお願いしてまいります。

前田教授におかれましては、「メンタルヘルスについて考える」と題したコラムを4回にわたりお寄せいただくことになりました。第1回目は「新型コロナウイルス感染症と心のケア」です。どうか裏面をご覧ください。

前田教授におかれましては、「メンタルヘルスについて考える」と題したコラムを4回にわたりお寄せいただくことになりました。第1回目は「新型コロナウイルス感染症と心のケア」です。どうか裏面をご覧ください。



9月3日に開催された、第15回執行委員会での様子



執行委員会で挨拶する今野会長



取り組み状況を報告する、東北労金・福島県本部・佐藤副本部長



福島医科大学・前田教授から心の医学について講義を受けました

シリーズ 『メンタルヘルスについて考える』

第1回 「新型コロナウイルス感染症とこころのケア」

福島県立医科大学医学部

災害こころの医学講座 前田正治

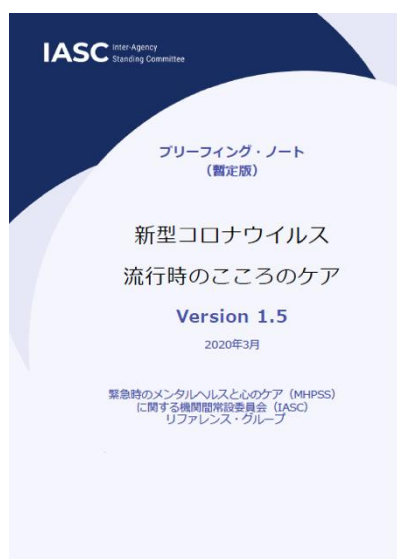


新型コロナウイルス感染症が武漢で問題となったとき、日本でもこのような事態に早晩陥ることを予見できた人は本当に少なかったと思います。3月に学校が休校となり、その後非常事態宣言が出され、今では毎日のように感染の話題が大きくニュースで取り上げられています。残念なことに、今のところこの感染流行が収まる確たる見通しは持てない現状です。

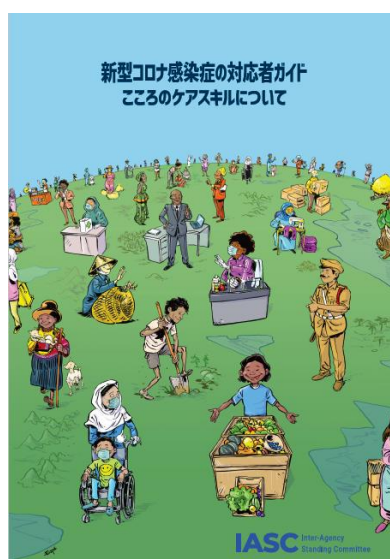
このように非日常的状态が長く続くと、それは心身にも大きなストレス反応を引き起こしてきます。そもそも人間にとって、ソーシャルディスタンスを保つとか、家での自粛生活を送るなどの行為は、（とくにそれが長期に及んだ場合には）メンタルヘルスにとって決してよくありません。こうした懸念もあって私たちは、早くから国連のケア・マニュアルを翻訳し、住民や専門職の皆様にご留意すべきことについて警鐘を鳴らしてきました（これらは大学の講座 HP からダウンロードできます）。

またこの問題が長期化するにつれ、経済的にもきわめて大きな影響をもたらしつつあり、それがまた人々の生活にも及びつつあります。メンタルヘルス上の問題は、大きく次のような点があります。①隔離あるいは自粛生活がもたらすストレス、②コミュニケーションの減少による孤立化、③感染への恐怖とそれがもたらす偏見等の社会的反応、④失業や経済的困窮によるストレス。

また高齢者はもとより、女性や子ども、医療従事者を含むエッセンシャル・ワーカーといった人々は、とくに高いストレスにさらされやすいため、より細やかなケアが必要となります。このような多岐にわたるメンタルヘルス上の問題を勘案し、これから4回のシリーズでこのメンタルヘルス問題について述べてみる予定です。また秋には皆様の状況やニーズを知るための無記名のアンケート調査を講座・連合福島共同で行う予定です。皆様のご理解・ご協力をお願いするとともに、コロナ感染症が早く終息し、皆様が健康であり続けることを祈念しております。



新型コロナウイルス流行時のこころのケアについてまとめられたノート。感染していない方も含めて、全住民を対象としたケアの方法について書かれているノートです。



新型コロナウイルス流行中に重要な役割を担う方、感染の影響を受けた人たちの命を守る方、すべての人に役立つシステムやサービスを提供する方を対象としたこころのケアに関するノートです。



福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座の HP 情報です。左で紹介したこころのケアに関するノートは、上の HP からダウンロードすることができます。